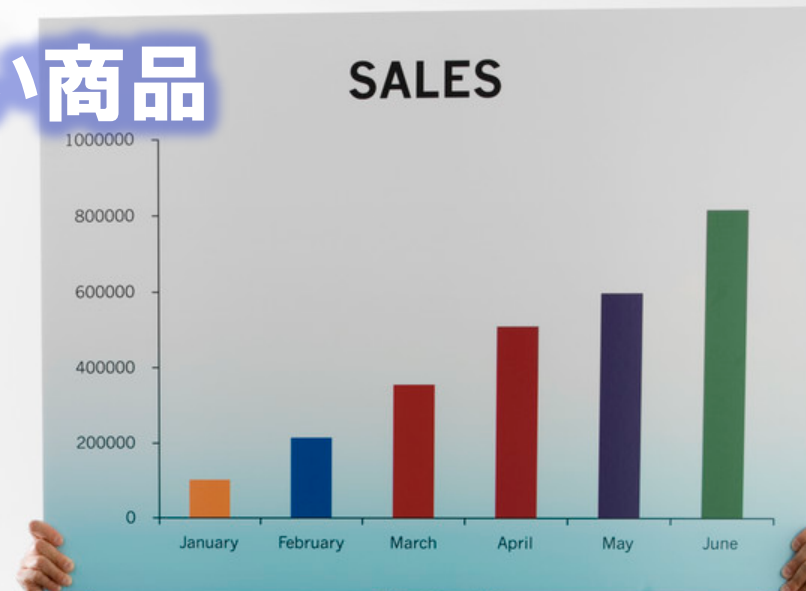


提案書という美しい商品



セクシーな提案書の作り方

提案書とは何か

理
性
的
側
面

論理性

客観性

信憑性

感
性
的
側
面

美しさ

わかりやすさ

メリハリ

提案書
商品の形

ソリューション
未完成の未来

採用したい
という意欲



魅力的な提案書を作る3つの事前準備

① お客様のTo Be（あるべき姿）／目的を把握する

To Do／手段

新しいサービスを使いたい

そのサービスを提案

条件による差別化
価格や納期など

「なぜ？」への回答

新商品販売のため、
使えるのではないと思ったから



To Be／目的

新商品を販売したい

最適なサービスを提案

価値による差別化
享受する価値の大きさ

迷いが生じたら
この原点に立ち返る

お客様は、手段を手に入れたいのではなく、
To Be／目的を達成したい

1. 魅力的な提案書を作る3つの事前準備

② 自分たちへの期待を確認する

提案そのものへの期待

アドバンテージ

採択の可能性あり
十分な検討と魅力的な提案書作成

当て馬

採択の可能性なし
提出しない、または、恩を売るために提出

事前の了解

提出すれば採用
事前の合意に基づき、完成度を高める

役割への期待

ベンダー

特定の商品やサービスへの期待
期待に最適な商品やサービスの選定

インテグレーター

目的達成に必要な組み合わせへの期待
目的に応じた最適な組み合わせを作成

プロデューサー

目的達成のための全ての取り組みに期待
お客様の相談相手としてすべての工程を統括

提案活動のイニシアティブ
を手に入れる

「事前の了解」と「プロデューサー」
としての期待に持ち込む

1. 魅力的な提案書を作る3つの事前準備

③ 自分たちの強みを理解する

提案内容

アイデアや企画

機能や性能

価格や費用

体制や組織

スケジュールや工程

自分たち自身

製品力や技術力

企業規模や実績

トップ同士の信頼関係

社会的評価や話題性

お客様との人脈や歴史

何故
自分たち
なのか？

提案の訴求点を
明確にする

強みを多面的にとらえ、ひとつに絞り込まない

2. 読みやすい提案書のための3部構成



【重要度】

要約編

1. 前提
2. 御社要求事項への対応
3. 本提案の概略

お客様が「知りたいこと（＝結論）」のエッセンス

ページ数は、3～5程度。お客様に、以降の説明への期待感を持たせる。

1. お客様への理解を示し安心感を醸成
2. お客様が期待する結論が明確
3. 簡潔明瞭な表現と美しいビジュアル

概要編

1. 開発方針
2. システム構成
3. スケジュール
4. 体制
5. 成果物
6. 費用計画

「要約編」の内訳や結論の裏付けを簡潔に解説

ページ数は、5～10程度。ここまでで、提案内容はすべて伝わる。

1. 結論の裏付けを説明
2. 本提案（あるいは、自社のアドバンテージ）を伝える
3. 簡潔明瞭な表現と美しいビジュアル

詳細編

1. 実現手段
 - ・ソフトウェア
 - ・プラットフォーム
 - ・ネットワーク
 - ・開発
2. スケジュール
3. 体制
 - ・開発体制
 - ・保守体制
- 4 費用計画

補足説明資料

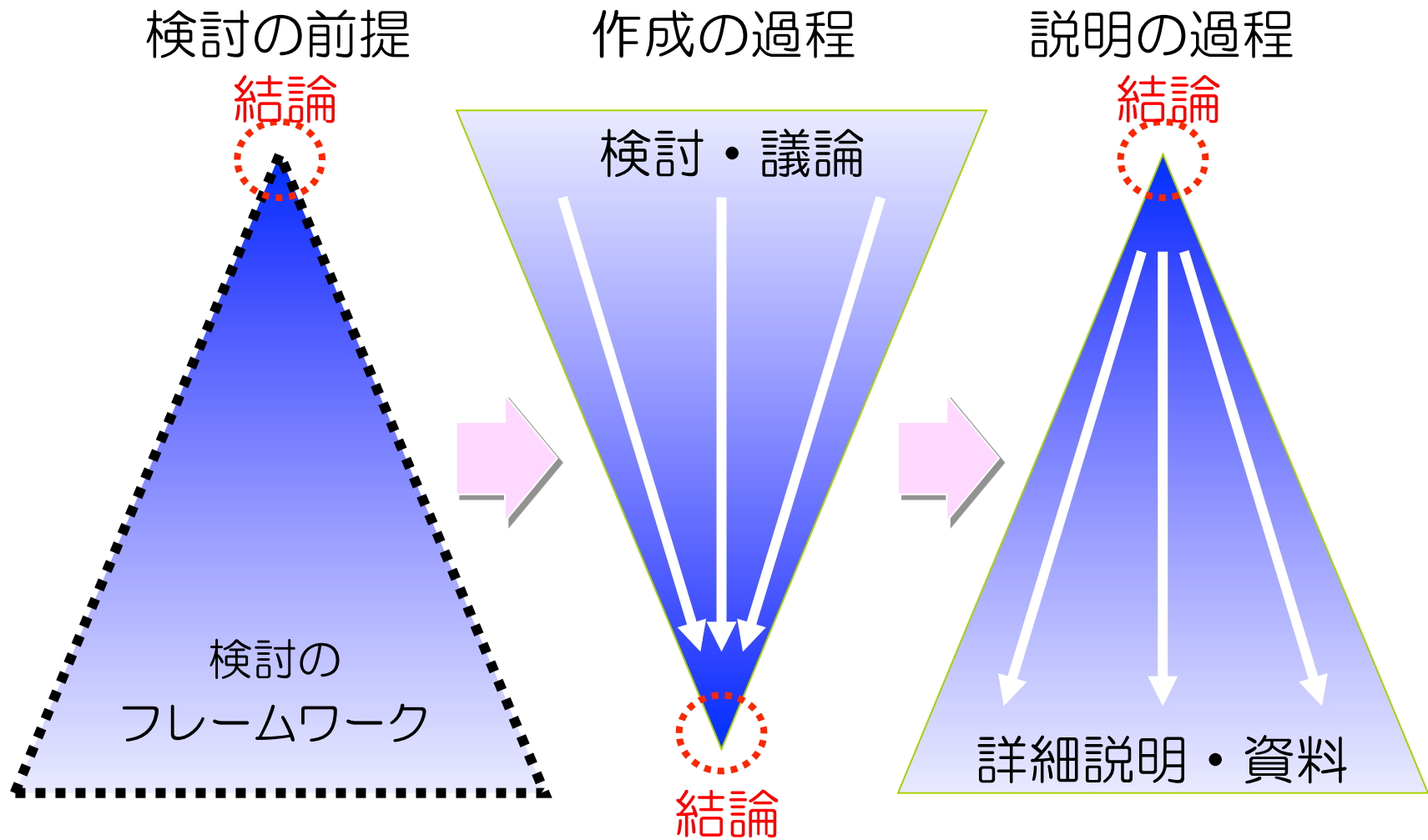
検討資料や既存資料を整理して掲載。時間的な制約もあり、できるだけ作業負担を省きたいところ。ページ数を稼ぐ。

ただし、以下は最低限対応。

1. サブジェクトに沿った資料の配置
2. サブジェクト毎の項目設定を統一する
3. タイトルおよび内容説明の形式やフォント、文字サイズの統一
(簡潔明瞭の原則／統一ルール原則／バランス均衡の原則)

【ボリューム】

2. 読みやすい提案書のための3部構成





原則1:簡潔明瞭の原則

原則2:統一ルールの原則

原則3:対比表現の原則

原則1: 簡潔明瞭の原則

- 因数分解 (キーワードを抽出。抽出した要点を階層化)
- 体言止め (解説的表現を廃しても、内容に影響なし)
 - ・ “～します” “～となります” など不要
 - ・ “～できます” “～しない” は「～可能」、「～なし」などの表現に置き換え
- 箇条書き (内容と構造が一目でわかる表現方法)

⇒ 左右で内容は等価。右サンプルでは、一目で必要な内容と構造が把握可能。

OS、DBMSについては、それぞれ、NCCS網に合わせて、Solaris、Oracleを使用します。

WebApplicationServerについては、InfoXXXXを使用します。弊社ではInfoXXXXをプラットフォームとした再利用可能部品を有しており、短納期に適應するため、開発効率を考慮して、本ミドルウェアを適用することいたしました。

InfoXXXXは十分に使い込まれており、バグも枯れています。弊社の内製品であり、今後の機能追加、維持管理体制も明確です。『大量メール配信システム』開発はInfoXXXXの開発メンバが担当することとしております。

サーバマシンは、NCCS網における安定稼動実績から、サン・マイクロシステムズ製品を選定いたしました。ディスク装置についてはすべての機器で、実績のあるソフトウェアRAIDを採用します。ネットワーク機器については、NCCS網の設備を共有することを想定しています。

サーバ台数は性能要件の詳細化を進めるなかで若干変動が予想されますが、6～10台になるものと推定していますが、見積り算出では6台を想定いたしました。

■OS、DBMS

- ・Solaris、Oracleを使用(NCCS網に対応)

■WebApplicationServer

- ・InfoXXXXを使用
 - ・再利用可能部品を保有
 - ・短納期に適應、開発効率を考慮
 - ・バグも枯渇(十分に使い込まれているため)
 - ・今後の機能追加、維持管理体制も明確(弊社内製品)

■開発

- ・InfoXXXXの開発メンバが担当

■サーバマシン

- NCCS網における安定稼動実績から、
 - ・サン・マイクロシステムズ製品を選定
 - ・ディスク装置はすべてソフトウェアRAIDを採用
- 想定台数 6台
 - ・性能要件の詳細化の過程で6～10台の範囲で変動予想

■ネットワーク機器

- NCCS網の設備を共有

* 下線部は、キーワード

原則2:統一ルールの特則

● 配色と形状

- 図表の記号や項目が、同じグループに属する場合は、同じ配色や形状に統一。
- 図形と文字の明暗、コントラストに注意。印刷やプロジェクターを使用する場合、背景色に隠れて文字が見えなくなることがある。
 - ・ 図形要素の囲みを太線にし、背景色は、白か、淡い色。文字は、濃い色
 - ・ 図形要素の背景色は濃くし、文字を白抜き
 - ・ 白黒印刷の場合にも、PPTは、印刷設定は「カラー」
- 色に意味がある場合もあるので、使用の場合は、適所使用を心がける。
 - ・ 費用計画等への使用に際して
 - 赤 : “赤字”や“マイナス”を連想
 - 黒 : “黒字”や“プラス”を連想
 - ・ スケジュールへの使用
 - 青・緑 : 順調な状態を連想
 - 黄 : リスクがある状態、注意すべきことを連想
 - 赤 : 危険な状況、クリティカル・ポイントを連想
 - ・ その他
 - 赤系 : 注意の喚起、強調

● 配置と順序

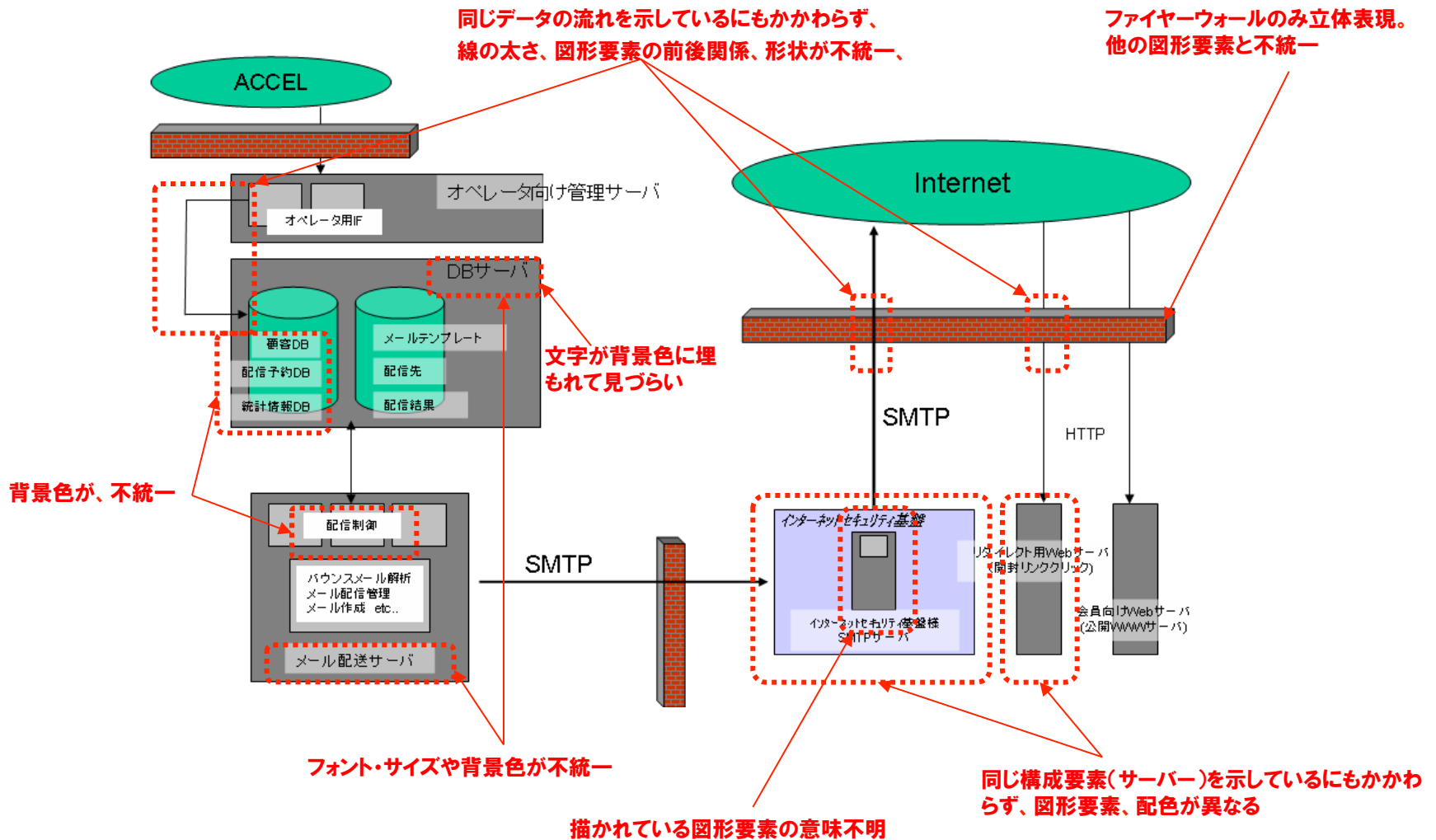
- 同様の説明では、箇条書きの書式を統一。
- 同じ要素を含む説明では、上下、左右の関係は統一。
- 図形要素は、左右、上下をそろえ配置する。

● フォントとポイント数

- フォントは、原則ゴシック体とする。明朝は、古くさいイメージを与えるので避ける。
- ポイント数(文字サイズ)は、全体を通して統一ルールに従う。
- 文字の大小、太細、下線のあるなしは、安易に設定しない。最後の見直しの時に、設定すると効果的。
- 斜体文字、影付けは、多用しない。見辛く、汚らしくなる場合がある。

原則2: 統一ルール

改善すべき余地のある例

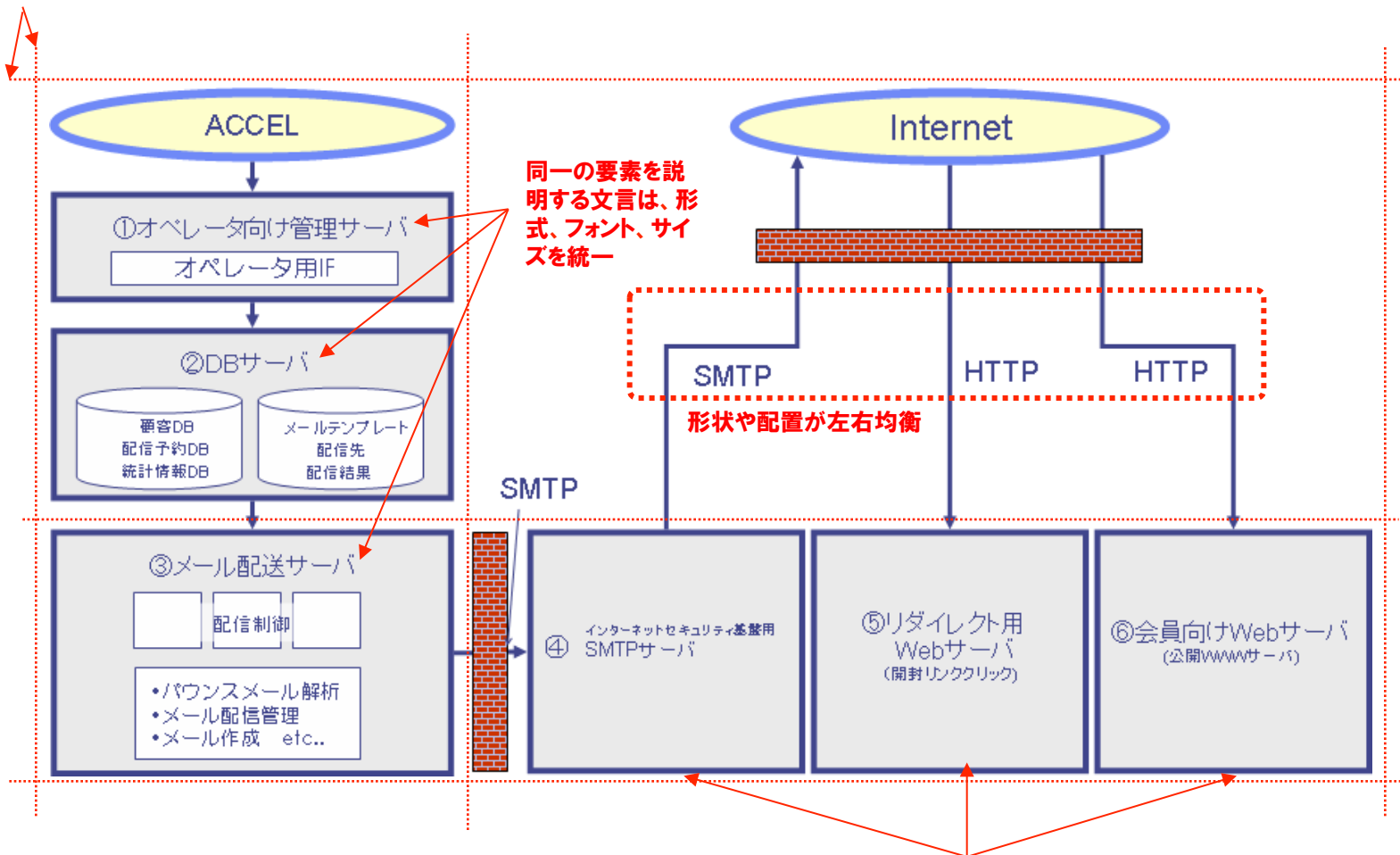


原則2:統一ルール of 原則

改善後の例

図表全体の左右、上下、階層関係を統一

全体として同じ構成要素のフォント、ポイント数を統一

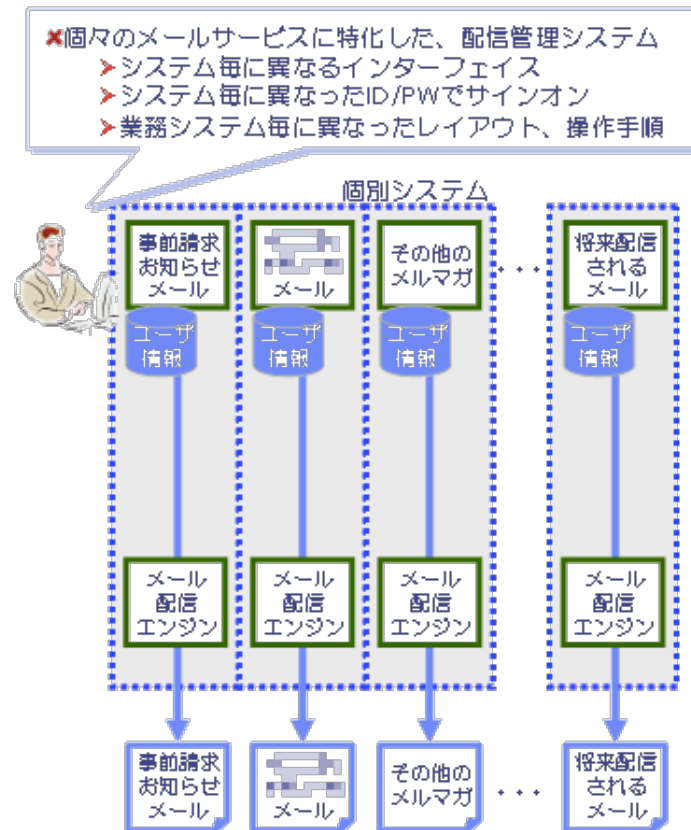


同一の構成要素は、同じ形状、配色に統一

原則3: 対比表現の原則

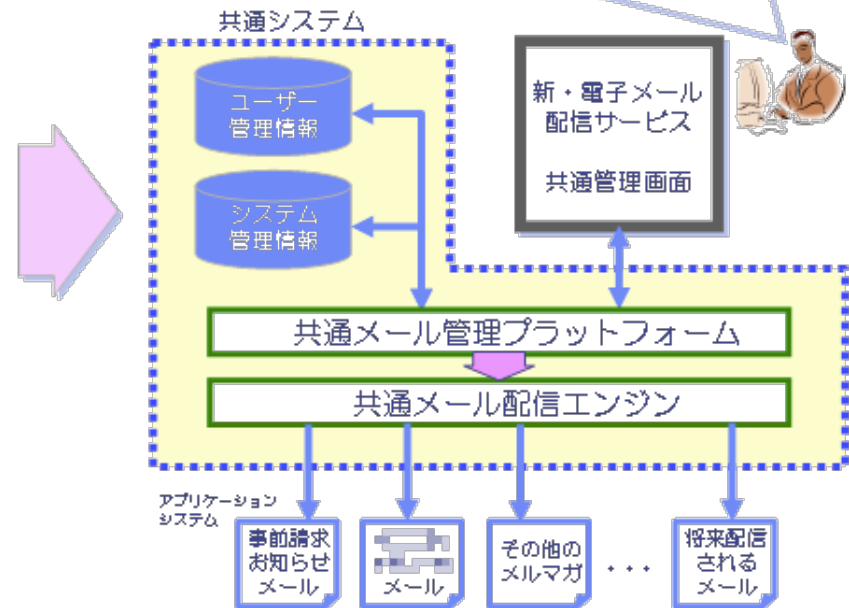
[稼働の前後]現状が、この提案によって、どうなるかが簡潔に説明できる。

現行システム



新規提案システム

- 統一されたWebインターフェイス
- メール・サービス毎に利用者や利用権限をきめ細かく管理
- サービス毎に異なる機能設定が画面から設定可能
- ユーザー情報の一元化により、個人情報保護法対策（開示、利用停止等への対応）を実現
- 顧客の利用サービスの変更、停止等に容易に対応



原則3: 対比表現の原則

[稼働の前後] 現状が、この提案によって、どうなるかが簡潔に説明できる。

【現状の業務プロセス】



【新システム稼働後の業務プロセス】



- 受注処理担当者数 : 8人→0人
- 受注から納期確認までの期間 : 1日→5秒

工程数、作業負荷、期間の大幅短縮

〔課題と解決策〕課題に対して、どのように解決できるかが簡潔に説明できる。

弊社からの提案

- 運用開始時期 : 2005年9月（本番開始）
- 配信処理性能 : 30万メール/時間
- 開発・導入費用 : 3000万円（初年度）

- 2005年9月 運用開始（一部機能制限＊）
- ◎ 30万メール/時間以上（拡張も容易）
- ◎ 2860万円（初年度）

●多機能
高度な処理要求にも対応

●実績ある部品化された機能モジュール

●**変更容易性**
機能変更等に容易に対応

●ウェブ・アプリ開発支援ツール

●安全性
操作履歴の管理と個人情報漏洩対応

●セキュア・プラットフォーム「XXX」

●スケーラブル
メール配信量増大に迅速・柔軟に対応

●並列配信・サーバー追加で段階的に拡大

●**互換性**
 現行と同一のプラットフォーム（運用スキルの継承）

●現行と同一プラットフォーム (Oracle/SUN)

原則3: 対比表現の原則

[結果と原因]結果と原因の因果関係、提案とその提案をした理由などの対比

	【提案内容】	【提案理由】	
■アプリケーション	アプリケーション毎のモジュール化ではなく、システム機能単位でのモジュール化	将来のアプリケーション・メニューの追加、機能の拡張に対して、柔軟性を確保するため	
■プラットフォーム	弊社ウェブ・アプリ開発支援ツール「XXXX」により各種アプリケーション・システムを構築	短期開発と部品化による性能保証、変更や保守の容易性を考慮	
●ミドルウェア	メール配信機能には、自社開発の高速メール配信エンジンを利用	実績に裏打ちされた信頼性	
●基本ソフトウェア	ORACLEとSUNをプラットフォームとして採用	運用担当者のスキル継承と既存システム資産の有効活用を考慮	
	セキュリティ・プラットフォームとして弊社開発「XXXX」を採用	個人認証ならびに利用者の職務権限による利用機能並びに利用データの制限を効率的に管理	
■ネットワーク	実績ある現行セキュア・ネットワークNNS上に、本システムを配置	顧客情報の安全性を考慮	
■スケジュール	基本システム9月本番稼働 拡張システム11月本番稼働	システム品質、運用品質の確保 オペレータの習熟と運用ノウハウの蓄積	
■体制	●開発体制	ABC-ATによるISO9001:2000に基づく開発管理体制	厳格な開発基準に基づく、高品質なシステム開発
	●保守体制	システム：ABCシステム開発（株） プラットフォーム：（株）BBCシステム	御社対応の実績と既存システムを熟知していることで、安全確実な保守運用が可能